

小出川中下流部における 2019 年の鳥類・動植物の記録

Record of Birds Plants and Animals Species in the Middle and Lower Reaches of Koide River 2019, Chigasaki, Kanagawa Prefecture

自然資料整理グループ¹⁾・馬谷原武之²⁾

CCM Volunteer Group(Natural History)¹⁾・Takeyuki MAYAHARA²⁾

はじめに

神奈川県茅ヶ崎市の西部を南北に流れる小出川は、神奈川県藤沢市の遠藤笹窪を源流としており、茅ヶ崎市内の小出地区、鶴嶺地区を流れ相模川河口へ流れる全長12.5kmの一級河川である。2018年1月から2019年2月に行った小出川中下流部の鳥類・動植物の調査(自然資料整理グループ・馬谷原 2019)に引き続き、2019年1月から2020年2月までの調査結果について報告する。

過去の小出川における調査では、水辺を好む鳥類が多数確認されている(樋口 2001; 小室・須藤 2008)。調査地の西久保橋-萩園橋間の東側に広がる西久保地区の水田は、以前は冬鳥のタゲリ(*Vanellus vanellus*)の飛来が確認されていたが、近年は近隣の自動車専用道路の整備、水田や周囲の環境の変化の影響か、この地区へのまとまった飛来は確認されていない(樋口 2010; 樋口・平田 2016; 樋口・平田 2018)。本報告に関連して小出川における冬季の鳥類の記録として2018年1月の記録(馬谷原 ほか 2018)、2018年の1年間の記録(自然資料整理グループ・馬谷原 2019)がある。2018年に行った一年間の調査では計50種の鳥類が確認され、植物は河川の土手環境を中心に植物131種、他動物種は簡易調査として昆虫21種、クモ類1種、両生類1種、爬虫類1種、哺乳類1種の痕跡(モグラ穴塚 Molehills)が確認されている(自然資料整理グループ・馬谷原 2019)。

調査地は周辺の開発や河川の護岸、土砂の浚渫等の河川改修工事等により、常に環境が変化している。2018年に引き続き、現在の状況における年間の動植物・環境の記録保存を目的として、夏季(8月)を除いた約1年間において鳥類を主とし、合わせて他動植物や河川環境状況について毎月1回調査範囲を踏査し、確認種の記録を行った。

方法

1) 調査概要

調査地：神奈川県茅ヶ崎市小出川中下流部約2km。
(図1：調査範囲模式図、図2：調査区間詳細、図3-8：調査区間状況写真)。

調査区間は各橋梁を基準として、大曲橋、西久保橋付近から浜園橋までの中流域約1200m、浜園橋から下町屋橋までの下流域約800mを対象とした(図2)。

現在の状況として、2018年に引き続き土砂の浚渫等の河川改修工事が進められており、生息環境には随時変化がある。

小出川中流域(寺尾橋-大曲橋-浜園橋)は、主に茅ヶ崎市と寒川町の行政境を流れており、周辺は宅地と農地が混在し、近年では宅地化が進んでいる。河道は多自然川づくりの一環として、覆土した護岸で整備しており、河道内には部分的に州が形成されている(神奈川県 2015)。下流域(浜園橋-下町屋橋-富士見橋付近)は、茅ヶ崎市を流れ、川沿いに住

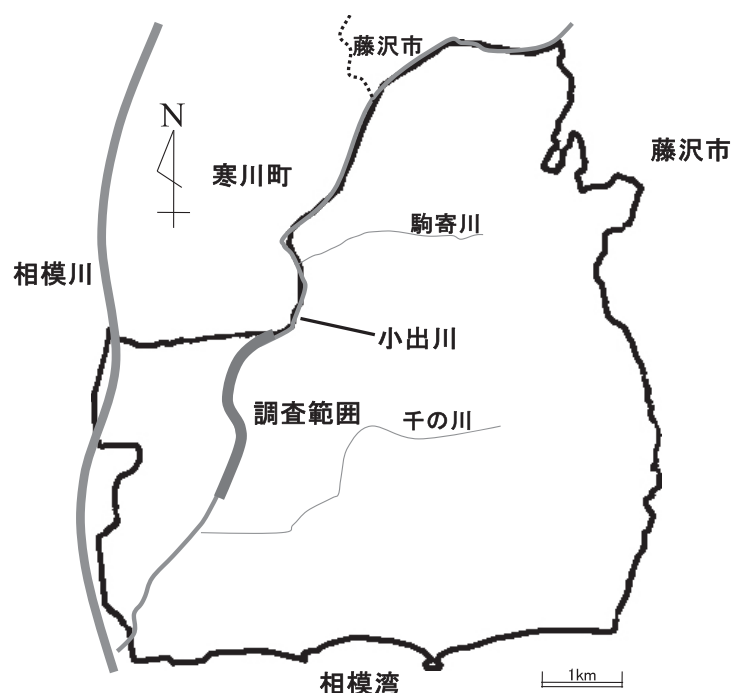


図1 茅ヶ崎市全体図 調査範囲模式図

表 1 調査日時・状況等

年月日	調査時間	天候	風速
2019.1/11	10:00-12:30	晴	弱
2019.2/13	10:00-13:00	晴	中
2019.3/13	10:00-13:00	晴	強
2019.4/24	10:00-13:00	晴	弱
2019.5/8	10:00-13:00	晴	弱
2019.6/12	10:00-13:00	晴	なし
2019.7/10	9:40-13:00	晴	なし
2019.9/11	9:40-13:00	晴	なし
2019.10/9	9:40-13:00	晴	なし
2019.11/13	9:40-12:30	晴のち曇	なし
2019.12/11	10:00-13:00	晴	弱
2020.1/10	9:40-12:15	晴	弱
2020.2/12	9:40-12:30	晴	弱

宅が近接している。右岸側は小出川に沿って新湘南バイパスが整備されている。河道はブロック積護岸が整備されており、水際部に自然な寄州が形成されている(神奈川県 2015)。

調査日時：

2019.1月-2019.7月, 2019.9月-2020.2月, 各月1回, 計13回(表1)。

調査区間：

No. 1: 西久保橋上流側(大曲橋)→西久保橋,
No. 2: 西久保橋→萩園橋, No. 3: 萩園橋→浜園橋,
No. 4: 浜園橋→新鶴嶺橋, No. 5: 新鶴嶺橋→中原橋,
No. 6: 中原橋→下町屋橋(図2)。

2) 調査内容

調査項目：踏査による鳥類, 他動植物, 河川環境状況の確認記録

調査区間の土手を上流から下流に向け踏査し, 目視や双眼鏡で各区間の水域, 陸域や上空で確認された鳥類, 他動植物, 河川環境状況の記録を各調査区間で行った。

植物は花期の物を中心として開花状況等も記録し, 他に調査地の環境を表すものとして注目されるものについて記録した。また, 環境を表す植物種を除き, 上流からの踏査の中で最初に確認された調査区間でのみ記録を行い, 以後個別の区間での記録は行わなかった。他動物類については簡易調査とし, 各調査区間で特に注目されたもののみ記録した。

鳥類分類, 学名は「日本鳥類目録改訂第7版」

(日本鳥学会 2012)等に従った。他動植物は「神奈川県植物誌2018 電子版」(神奈川県植物誌調査会編 2018), 「BG Plants 和名-学名インデックス」(Y List) http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_main.html(米倉・梶田 2003-), 昆虫学データベース(KONCHU) <http://konchudb.agr.agr.kyushu-u.ac.jp/index-j.html>, 国立環境研究所 侵入生物データベース <https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/>, みんなで作る日本産蛾類図鑑V2 <http://www.jpmoth.org/>, 鈴木 茂 (2017) 日本列島の甲虫全種目録 (2019年) <https://japanesebeetles.jimdofree.com/>, 写真で見る生物の系統と分類 - 生きものの好きの語る自然誌 https://tonysharks.com/Tree_of_life/Tree_of_life.html等を参考とし, 他図鑑等をもちいた。調査区間詳細の図は1/10000地形図(茅ヶ崎市 2015)をもちいた。

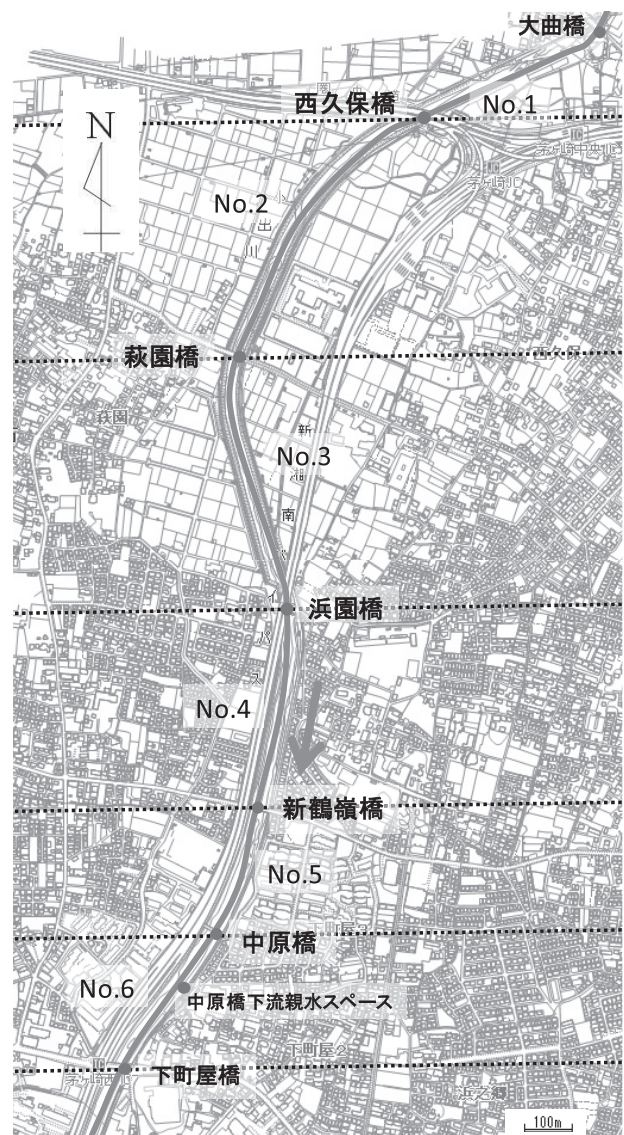


図 2 調査区間詳細

結果・考察

1) 鳥類の記録

表2に調査により確認された全体の鳥類の目録と確認時期、表3-1, 3-2, 3-3に各調査区間(各橋梁間)の確認種数一覧を示す。

引き続き2018年と同様の傾向がみられ、今回の調査期間全体において計48種(2018年は50種)の鳥類が確認された。当地は調査地全体にさまざまな環境が存在しており、各生息環境に合わせ、水辺、上空、川原や土手、周辺陸部、丘陵地や平地、田畑、公園等でみられる多くの種が確認された。多くの種を確認した月は2018年と同様に冬季で、2019年1月に29種、2019年2月に30種、2020年1月に32種、2020年2月に30種確認された。これらは主に冬鳥、中でも水鳥であるカモ類等の飛来地となる様な水辺環境が成り立っていることが大きいと考えられる。確認種が少なかった月は2019年7月で12種確認された。多くの種を確認した区間は2018年同様、ある程度の規模のヨシ原がみられ、水田が隣接するNo. 1, No. 2からNo. 3(西久保橋→浜園橋)であった。ただし、土砂の浚渫等の河川改修工事時には河川内の植物は刈り取られ改修工事が行われる為、工事時にヨシ原を含め植物は刈り取られ裸地状態となる(図5)。その為、ヨシ原を利用する種の生息環境は減少している。

全域、全調査日で水鳥のカモ科が多くみられ、傾向は変化していない。カルガモ(*Anas zonorhyncha*)は全調査日で確認された。冬鳥のヒドリガモ(*Anas penelope*)は個体数が多く調査地全域で確認され、2019年12月から2020年2月にかけてNo. 1からNo. 3でコンスタントに数十個体から120個体(2020年2月, No. 2)確認された。水辺に生息するクイナ科のクイナ(*Rallus aquaticus indicus*) (図12)が確認され、バン(*Gallinula chloropus chloropus*)や、オオバン(*Fulica atra atra*) (図13)が確認された。特にオオバンは2020年1月調査時にNo. 1(西久保橋上流側(大曲橋)→西久保橋)で78個体、2020年2月調査時にNo. 2(西久保橋→萩園橋)に80個体確認され、ヒドリガモと共に大きな群れが確認された。水田や湿地に飛来するシギ科タシギ(*Gallinago gallinago gallinago*) (図14)は、2019年2月にNo. 4(浜園橋

→新鶴嶺橋)で2個体、2019年3月にNo. 3(萩園橋→浜園橋)で1個体、2020年1月、2月にNo. 2(西久保橋→萩園橋)で2個体確認された。丘陵地等の環境に生息するハヤブサ科のチョウゲンボウ(*Falco tinnunculus interstinctus*) (図15)が確認された。2019年6月にNo. 3のヨシ原で夏鳥のツバメ科ツバメ(*Hirundo rustica gutturalis*)の成鳥2個体、幼鳥3個体(図16)が確認され、成鳥が給餌を行っている様子が確認された。一部の鳥類のみピックアップしたが、全体で多種、多数の鳥類が確認され、河川を中心に多様な生息環境が成立していると考えられる。

2) その他動植物等

野鳥調査の踏査と合わせ、各調査区間で確認された植物・他動物種を表4、各調査区間の河川環境状況を表5、確認された他動物種(昆虫類、他動物)の目録を表6、植物種の目録を表7に示す。調査地は全体的に河川兩岸に草地環境が広がり、河川内中州にも植物が確認される。調査の結果、河川の土手環境を中心に植物は136種(2018年は131種)確認され、河川内にはヨシ(*Phragmites australis*)、マコモ(*Zizania latifolia*) (図9)、ヒメガマ(*Typha domingensis*) (図10)等の湿地性植物の群落が確認された。

他動物種は簡易調査として昆虫類は46種確認され、流水性のハグロトンボ(*Calopteryx atrata*) (図17)や、土手の草地環境等に生息する種が確認された。また、陸生貝類1種(ミスジマイマイ *Euhadra peliomphala peliomphala*)、クモ類1種(カラスハエトリ *Rhene atrata*)、甲殻類1種(カクベンケイガニ *Parasesarma pictum*)、両生類1種(ニホンアマガエル *Hyla japonica*)、爬虫類1種(ミシシippアカミガメ *Trachemys scripta elegans*)、哺乳類1種の痕跡(モグラ穴塚 Molehill s)が確認された。

調査地の環境として、河川改修により河川内の整備、植物刈り取りによる裸地状態の環境が確認されている。河川内に生育する特定外来生物に指定されているナガエツルノゲイトウ(*Alternanthera philoxeroides*) (図11)は、冬季には枯れている様にみえる群落も多く、河川改修時には河川内の植物は全て刈り取られるが、夏季に複数の群落が繁茂し水面

を覆っている状態は変わっておらず、基部や一部分は残り繁殖していると考えられる。また、昨年同様カモ類が摂食している状況が確認されている。

まとめ

今回の鳥類を中心とした網羅的調査で2018年、2019年の2年間の調査データを記録保存することができた。調査地の河川と周辺部はヨシ原、湿地、河川改修後の裸地、管理された土手、草地、周辺田畑、宅地等さまざまな環境が含まれており、河川改修工事は行われているものの、2018年と同様に多様な種が確認されたと考えられる。今後、これらの調査データを元に数年毎に調査を行うことにより、長年に渡る河川や周辺環境の変化による環境の変遷、動植物の生息状況、鳥類の生息や飛来状況の変化等の関連性を確認することができると考えられる。

謝辞

調査において茅ヶ崎市文化資料館自然資料整理グループ、文化資料館と活動する会自然部会のメンバー、茅ヶ崎市文化資料館にご協力頂いた。深く御礼申し上げる。

引用文献

- 樋口公平(2001)千ノ川下流域、小出川中下流域の鳥相について。文化資料館調査研究報告(9), pp1-7.
- 樋口公平(2010)茅ヶ崎市、寒川町、藤沢市におけるタゲリー斉調査10年間(1999-2008年度)について。文化資料館調査研究報告(19), pp15-18.
- 樋口公平・平田稔(2016)茅ヶ崎市、寒川町、藤沢市、伊勢原市、平塚市におけるタゲリー斉調査(2013, 2014年度)について。文化資料館調査研究報告(25), pp23-28.
- 樋口公平・平田稔(2018)茅ヶ崎市、寒川町、藤沢市、伊勢原市、平塚市におけるタゲリー斉調査(2015, 2016年度)について。文化資料館調査研究報告(27), pp15-19.
- 神奈川県(2015)相模川水系小出川・千の川河川整備計画。http://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/cn/f70089/documents/764956.pdf

- 神奈川県植物誌調査会編(2018)神奈川県植物誌2018 電子版。1803pp. 神奈川県植物誌調査会、小田原。国立環境研究所 侵入生物データベース。https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/(2020年2月21日)。
- 小室明彦・須藤格(2008)茅ヶ崎市における野鳥分布調査について。文化資料館調査研究報告(17), pp21-30.
- 昆虫学データベース(KONCHU)。http://konchudb.agr.agr.kyushu-u.ac.jp/index-j.html(2019年2月20日)、リンク切れ(2020年2月21日)。
- 馬谷原武之・久保有生・須藤格・自然資料整理グループ(2018)小出川中下流部における冬季の鳥類の記録-2018-。文化資料館調査研究報告(27), pp29-33.
- みんなで作る日本産蛾類図鑑V2。http://www.jpmoth.org/(2020年2月21日)。
- 日本鳥学会(2012)日本鳥類目録改訂第7版。438pp. 日本鳥学会、三田。
- 自然資料整理グループ・馬谷原武之(2019)小出川中下流部における年間の鳥類・動植物の記録-2018-。文化資料館調査研究報告(28), pp29-39.
- 写真で見る生物の系統と分類 - 生きものの好きの語る自然誌。https://tonysharks.com/Tree_of_life/Tree_of_life.html(2020年2月21日)。
- 鈴木 茂(2017)日本列島の甲虫全種目録(2019年)。https://japanesebeetles.jimdofree.com/(2020年2月21日)。
- 米倉浩司・梶田忠(2003-)BG Plants 和名一学名インデックス」(YList)。http://ylist.info(2020年2月21日)。
- 1) 茅ヶ崎市文化資料館自然資料整理グループ
石井準子・河村まき子・河野正子・小室明彦
倉川典夫・齊藤由美・野田典子・渡辺俊子
Chigasaki City Museum Of Heritage(CCM) volunteer group(Natural History)
- 2) 茅ヶ崎市教育委員会社会教育課
茅ヶ崎市文化資料館
Chigasaki City Museum Of Heritage

表 2 確認された鳥類目録

科名	種名	学名	2019. 1/11	2019. 2/13	2019. 3/13	2019. 4/24	2019. 5/8	2019. 6/12	2019. 7/10	2019. 9/11	2019. 10/9	2019. 11/13	2019. 12/11	2020. 1/10	2020. 2/12
キジ科	キジ	Phasianus colchicus robustipes	○								○				○
カモ科	ヒドリガモ	Anas penelope	○	○	○						○	○	○	○	○
	マガモ	Anas platyrhynchos platyrhynchos	○	○							○	○	○	○	○
	カルガモ	Anas zonorhyncha	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ハシビロガモ	Anas clypeata		○	○										
	コガモ	Anas crecca crecca	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○
カイツブリ科	カイツブリ	Tachybaptus ruficollis												○	○
	カンムリカイツブリ	Podiceps cristatus												○	
ハト科	キジバト	Streptopelia orientalis orientalis	○		○	○							○	○	
	カワラバト (ドバト)	Columba livia	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○
ウ科	カウウ	Phalacrocorax carbo hanedae	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○
サギ科	ゴイサギ	Nycticorax nycticorax nycticorax				○ (幼鳥、 ホシゴイ)						○ (幼鳥、 ホシゴイ)			
	アオサギ	Ardea cinerea jouyi	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ダイサギ	Ardea alba alba	○	○		○				○	○	○	○	○	○
	チュウサギ	Egretta intermedia intermedia				○									
	コサギ	Egretta garzetta garzetta	○	○	○		○				○	○	○	○	○
クイナ科	クイナ	Rallus aquaticus indicus					○								○
	バン	Gallinula chloropus chloropus	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	オオバン	Fulica atra atra	○	○	○	○						○	○	○	○
チドリ科	イカルチドリ	Charadrius placidus													○
	コチドリ	Charadrius dubius curonicus	○				○								
シギ科	タシギ	Gallinago gallinago gallinago		○	○									○	○
タカ科	トビ	Milvus migrans lineatus	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○
	ノスリ	Buteo japonicus												○	
カワセミ科	カワセミ	Alcedo atthis bengalensis		○	○			○		○	○	○	○	○	○
キツツキ科	コゲラ	Dendrocopos kizuki nippon												○	
ハヤブサ科	チョウゲンボウ	Falco tinnunculus interstinctus			○						○	○	○		
モズ科	モズ	Lanius bucephalus bucephalus	○	○	○					○	○	○	○	○	○
カラス科	ハシボソガラス	Corvus corone orientalis	○	○		○			○		○				○
	ハシブトガラス	Corvus macrorhynchos japonensis	○	○		○	○	○	○		○		○	○	
シジュウカラ科	シジュウカラ	Parus minor minor	○	○			○	○			○	○	○	○	○
ヒバリ科	ヒバリ	Alauda arvensis japonica				○		○							
ツバメ科	ツバメ	Hirundo rustica gutturalis				○	○	○	○	○					
ヒヨドリ科	ヒヨドリ	Hypsipetes amaurotis amaurotis	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○
ウグイス科	ウグイス	Cettia diphone cantans		○								○	○		
メジロ科	メジロ	Zosterops japonicus		○									○	○	○
セッカ科	セッカ	Cisticola juncidis							○						
ムクドリ科	ムクドリ	Spodiopsar cineraceus	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
ヒタキ科	シロハラ	Turdus pallidus													○
	アカハラ	Turdus chrysolaus		○										○	
	ツグミ	Turdus naumanni eunomus	○	○	○	○						○		○	○
	ジョウビタキ	Phoenicurus aureus aureus	○		○							○			
	イソヒヨドリ	Monticola solitarius philippensis	○	○				○				○		○	
スズメ科	スズメ	Passer montanus saturatus	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セキレイ科	ハクセキレイ	Motacilla alba lugens	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アトリ科	カワラヒワ	Chloris sinica minor	○	○		○			○		○	○	○	○	○
ホオジロ科	ホオジロ	Emberiza cioides ciopsis	○												
	アオジ	Emberiza spodocephala personata	○	○										○	○

表 3-1 各調査区間の確認種

調査区画		No.1大曲橋→西久保橋												No.2 西久保橋→萩園橋															
種名	調査日	2019. 1/11	2019. 2/13	2019. 3/13	2019. 4/24	2019. 5/8	2019. 6/12	2019. 7/10	2019. 9/11	2019. 10/9	2019. 11/13	2019. 12/1	2020. 1/10	2020. 2/12	2019. 1/11	2019. 2/13	2019. 3/13	2019. 4/24	2019. 5/8	2019. 6/12	2019. 7/10	2019. 9/11	2019. 10/9	2019. 11/13	2019. 12/1	2020. 1/10	2020. 2/12		
キジ		1								1				1															
ヒドリガモ				66								8	40		30	38								4	2 (♀2)	59	51	120	
マガモ												13 (♂7, ♀6)												1 (♀1)	3 (♀3)			8 (♂4, ♀4)	
カルガモ					7	3	1					1	1 (死亡 個体)		2	21	2	4	2	3		24	35	81				70	
ハシビロガモ																													
コガモ			6									20	5		10	6	6	4							4	5	3 (♂2, ♀1)	9 (♂4, ♀5)	
カイツブリ																													
カンムリカイツブリ																													
キジバト															5			1											
カワラバト（ドバト）		3		1			2	1		11		5			70	30			30	15	1					250 (強)	100	100	
カワウ		3		1							1	3	2									1	2		5	2	3		
ゴイサギ																	1 (幼鳥、 ホシゴイ)												
アオサギ													1	1	2			1	2		1			2	3			1	
ダイサギ											1											1	1	2				1	
チュウサギ																													
コサギ				3		1				1		2		1										1	1				
クイナ																													
バン															1		1		1	1				3	7	2	2	6	
オオバン			17	32								1	78		2	5		1							3	22	29	3	80
イカルチドリ																													
コチドリ																			1										
タシギ																										2 (♂1, ♀1)	2		
トビ											1	1			1	1	1	2		1				1	2	1		3	
ノスリ																											1		
カワセミ												1								1			1		1				
コゲラ																													
チョウゲンボウ				3							1 (♂1)	1												1 (♀1)					
モズ											1 (♀1)				1	1	1					1	2	1	1	1 (♀1)			
ハシボソガラス					1					1				17	1	2		1						1					
ハシブトガラス						2				2		10				2		2	1										
シジュウカラ																	2												
ヒバリ																		2		2									
ツバメ					2	7	1	1	2											2	2	10							
ヒヨドリ										1		5					1						2				1	12	
ウグイス																													
メジロ																													
セッカ																													
ムクドリ				1	4	10	2	3		2		10		3	1	20		8	2	2	3								
シロハラ																													
アカハラ																													
ツグミ					1									1	1	5											3	2	
ジョウビタキ															1														
イソヒヨドリ																					1								
スズメ					3	2	2	1	30		20	16						1		4	1			4	5			16	
ハクセキレイ		2		1							1	2	2	3				1	2	1		1	2	7	2	2			
カワラヒワ															2	12		3						2	2			2	
ホオジロ																													
アオジ																													

表 3-2 各調査区間の確認種

○：確認のみ

調査区画 ¹		No.3 萩園橋→浜園橋													No.4 浜園橋→新鶴嶺橋													
種名	調査日	2019. 1/11	2019. 2/13	2019. 3/13	2019. 4/24	2019. 5/8	2019. 6/12	2019. 7/10	2019. 9/11	2019. 10/9	2019. 11/13	2019. 12/11	2020. 1/10	2020. 2/12	2019. 1/11	2019. 2/13	2019. 3/13	2019. 4/24	2019. 5/8	2019. 6/12	2019. 7/10	2019. 9/11	2019. 10/9	2019. 11/13	2019. 12/11	2020. 1/10	2020. 2/12	
キジ																												
ヒドリガモ	24									2	4 (♂2, ♀2)	8	18		2										1 (♀1)	2		
マガモ	6 (♂3, ♀3)	4 (♂2, ♀2)								1	4 (♂2, ♀2)	5 (♂3, ♀2)	17 (♂8, ♀9)	9 (♂4, ♀5)											3 (♂1, ♀2)			
カルガモ	10	12	10		1	2	1	2	10	4	4	14	6	6			4	2		1	5	3		4	10	13		
ハシビロガモ																												
コガモ		11	5	11						7	5	5	1 (♂1)	1 (♂1, ♀1)	1	5	3	5							5 (♂3, ♀2)	1	3 (♀3)	7 (♂3, ♀4)
カイツブリ																												
カンムリカイツブリ																												
キジバト																									2	3		
カワラバト（ドバト）										1												15						
カワウ				2									3			1					2				2	2	2	
ゴイサギ																												
アオサギ		1	1							1	1	1	1			1	2				1	1	1	1	3	2	1	
ダイサギ																	1											
チュウサギ																												
コサギ	1		1								1	1	1		1	1	1			1				1	3			
クイナ														1														
バン	1	1		2					6		4	5	9	1	2				1									
オオバン	15	4								1	20	1	3	5	3	3									2	7	11	1
イカルチドリ																											1	
コチドリ					2										2			2										
タシギ			1													2												
トビ										1			1	1								1						
ノスリ																												
カワセミ												1				1	1 (♂1)								1 (♀1)		1 (♂1)	
コゲラ																												
チョウゲンボウ										1																		
モズ	1 (♂1)										1	1 (♂1)		1 (♂1)	1										1		1 (♂1)	
ハシボソガラス							2									1					1						3	
ハシブトガラス	2						2												1									
シジュウカラ															1				1				1		1	2	2	
ヒバリ						1																						
ツバメ				4		7	10											1	1	2	3							
ヒヨドリ	1									2	5	1		3	1				1			1			2		2	
ウグイス																												
メジロ																										15	1	
セッカ																												
ムクドリ			18	10		4							7	13	8		10					10	4		10		13	
シロハラ																												
アカハラ																												
ツグミ			1									1							1					1			1	
ジョウビタキ																												
イソヒヨドリ																												
スズメ	2	50	1			1				4					2			3	1	6	50			1		12	14	
ハクセキレイ	1	○															1			1				1	1	1		
カワラヒワ		6				1	3				3	8	3										2				5	
ホオジロ															1													
アオジ		1 (♂1)																								2	1	

表 3-3 各調査区間の確認種

○：確認のみ

調査区画		No.5 新鶴嶺橋→中原橋														No.6 中原橋→下町屋橋													
種名	調査日	2019. 1/11	2019. 2/13	2019. 3/13	2019. 4/24	2019. 5/8	2019. 6/12	2019. 7/10	2019. 9/11	2019. 10/9	2019. 11/13	2019. 12/11	2020. 1/10	2020. 2/12	2019. 1/11	2019. 2/13	2019. 3/13	2019. 4/24	2019. 5/8	2019. 6/12	2019. 7/10	2019. 9/11	2019. 10/9	2019. 11/13	2019. 12/11	2020. 1/10	2020. 2/12		
キジ																													
ヒドリガモ																													
マガモ																													
カルガモ				2			1			2	2			3			1				4	1	2	2					
ハシビロガモ			2	1 (♀1)													1 (♀1)												
コガモ		5	15	8		1 (♂1)				1	4 (♂2, ♀2)	8	5 (♂1, ♀4)	13 (♂6, ♀7)		4	6						5		9		4 (♂2, ♀2)		
カイツブリ																										1	2		
カンムリカイツブリ																										1			
キジバト				1																						6			
カワラバト（ドバト）							1	多	50											2			35			28			
カワウ											2	3	1	1											4	1	1		
ゴイサギ																							1 (幼鳥、 ホシゴイ)						
アオサギ			1		1 (幼鳥)		1		1	1	2	2	1	1			1		1				1	2	5	1	1		
ダイサギ					1							2				1									1	1	1		
チュウサギ					1																				1	1	1		
コサギ		1								1	1	1				1	1		1						3	1			
クイナ																													
バン						1						2	1	2		1								2	2				
オオバン			2	4							6		2	1	2	2	8								7	4	22	35	
イカルチドリ																				1									
コチドリ						1																							
タシギ																													
トビ																													
ノスリ																													
カワセミ										1	2 (♂1, ♀1)	2 (♂1, ♀1)	2 (♂1, ♀1)														1		
コゲラ													2 (♂1, ♀1)													1			
チョウゲンボウ																													
モズ											1		2 (♂1, ♀1)	1 (♀1)			1												
ハシボソガラス								1																					
ハシブトガラス							1			3																			
シジュウカラ		2	2							2			12							2				2	5	1			
ヒバリ																													
ツバメ							2														1								
ヒヨドリ			2	1							1										1				2				
ウグイス											2 (地鳴き)					1									○ (地鳴き)				
メジロ			15										2												2	15			
セッカ																													
ムクドリ		15				13				8					2							10							
シロハラ														1															
アカハラ			1										1																
ツグミ																										1			
ジョウビタキ											1																		
イソヒヨドリ															1									1		1			
スズメ		3			1			5						1									4						
ハクセキレイ				1	1										1		1								1				
カワラヒワ								1		6					4					1			6						
ホオジロ																													
アオジ																													

表 4 各調査区間で確認された動植物

植物開花状況：
 ◎ 満開 ○ 開花 △ つぼみ
 ※ 実（熟果） × 未熟果

	No.1大曲橋ー西久保橋 開花等植物・他生物等		No.2西久保橋ー秋園橋 開花等植物・他生物等		No.3秋園橋ー浜園橋 開花等植物・他生物等		No.4浜園橋ー新鶴橋 開花等植物・他生物等		No.5新鶴橋ー中原橋 開花等植物・他生物等		No.6中原橋ー下町屋橋 開花等植物・他生物等		
2019. 1/11	ナガエツルノゲイトウ(少)		ギンギン セイヨウタンポポ ナガエツルノゲイトウ(少)		ヨシ ナガエツルノゲイトウ(河川改修で削られ川面 が出ている)				ナガエツルノゲイトウ(枯れ)		ナガエツルノゲイトウ(枯 れ)		
2019. 2/13	ヘクソカズラ△ ホシアサガオ※ アメリカイヌホオズキ※ ナガエツルノゲイトウ 見当たらない	アメリカオニアザミ△ ノゲシ○ キヅタ※ (ナガエツルノゲイトウ 見当たらない)	ヨシ※ カタバミ○ トウダイグサ△ カラシナ○ ナガバギンギン△※		ウシハコベ○ アキノノゲシ※ セイヨウタンポポ○ (ナガエツルノゲイトウ 見当たらない)		ヨシ※ (ナガエツルノゲイトウ見当たらない)		スイセン ウメ○(紅梅、白梅) ナガエツルノゲイトウ(枯れ)		ナワシログミ× ナガエツルノゲイトウ(枯れ)(両 岸)		ヨシ(枯れ) マコモ(枯れ) ナガエツルノゲイトウ(枯 れ)(左岸)
2019. 3/13	ヤハズエンドウ○ クサイチゴ○ タネツケバナ○ ノゲシ○ セイヨウタンポポ○		ウサギアオイ(帰化植物確認としての記録) コセンダングサ※ オニノゲシ○△×				スギナ(ツクシ) トウダイグサ○ カラシナ○ セイヨウアブラナ○ オニノゲシ○	ノゲシ○ 他生物等 ミシシippアカミガメ ×5	スイセン◎(河川内、中州)		ヨシ(芽吹き) マコモ(芽吹き) ナワシログミ※ トウダイグサ		
2019. 4/24	センニンソウ クズ ムラサキツメクサ◎ クサイチゴ◎ カラシナ◎ ギンギン△	カントウタンポポ◎ スイカズラ ノジナ◎ ツル性植物 (ナガエツルノゲイトウ 見当たらない)	他生物等 ナナホシテントウ ナメシジミ ヤマトシジミ		アマガエル		ガマ(中州) オオスズメノカタビラ カラシナ◎ ギンギン ヘラオオハコ	ノヂシャ◎ (ナガエツルノゲイトウ 見当たらない) 他生物等 モンシロチョウ	シキミ イヌムギ◎ ヒゲナガスズメノチャヒ キ ネズミムギ◎ ベニカタバミ	ナガエツルノゲイトウ (繁茂) アカミタポポ	ヨシ スズメノカタビラ マコモ コマツヨイグサ○ ナガエツルノゲイトウ (少)	クコ 他生物等 ツマグロヒョウ モン(♂)	チガヤ ウバメギン ナガエツルノゲイトウ(少)
2019. 5/8	アメリカワウロ○△ クサイチゴ○△× オニアザミ キツネアザミ△ オヤブジャミ○	他生物等 トノサマバタ ナナホシテントウ	ヨシ オオスズメノカタビラ ワレモコウ(芽立ち) タチアオイ○ ギンギン◎		クサギ アザミsp. ブタノ○ オオジハバリ◎		ヒゲナガスズメノチャヒキ オヘビチゴ○△× ナガエツルノゲイトウ		キショウブ ノビル○ ネズミムギ ホソムギ ナガエツルノゲイトウ	他生物等 ミシシippアカミガメ ×1(大)	コバンソウ○△× コマツヨイグサ シモツケム イモカタバミ○ シモツケム	他生物等 ヤマトシジミ モンシロチョウ	ヨシ マコモ マンネングサ○× (全体で多数のコチドリ♂ ♀確認。詳しい方による と、この河川環境で営巣 はないのではとのこと)
2019. 6/12	ドクダミ○ ツクサ○ オニアザミ○ ヒメジョオン○ ウラジロチコグサ○ アオニタビラコ○	他生物等 ナメシジミ カラスハエトリ	イヌムギ○ ヨシ○ マダガスカルナズナ ワレモコウ○△× アレチハナガサ○△× ノアザミ○△		他生物等 クサカゲロウsp. ハッカハムシ ホソクビナガハムシ モンシロチョウ×3 カタテハ×1 ウメダシヤク		イタドリ ナガエツルノゲイトウ (繁茂) ヘラオオハコ(繁茂) セイヨウタンポポ○	他生物等 クサカゲロウsp. モンキチョウ ベニシジミ×3 ツバメ親2、子ツバメ5 河川のヨシ部で給餌	ドクダミ○ ヨシ○(繁茂) ユウゲショウ○△ ナガエツルノゲイトウ (繁茂)	他生物等 ヤブキリ ウメエダシヤク カクベンケイガニ ミシシippアカミガメ	ヒメガマ コバンソウ ホソムギ ヨシ ナガエツルノゲイトウ ノゲシ○	ヒメガマ イヌムギ ヨシ マコモ マテバシイ◎ イタドリ ナガエツルノゲイトウ	
2019. 7/10	ツクサ○ ネズミムギ ホソムギ○ ヨシ セイバンモロコシ ノドウ○ エビビル オウチチカタバミ○ ナガエツルノゲイトウ テルミノイヌホオズキ ○×	ヒメジョオン オオアレチノギク○ ウラジロチコグサ○ セイヨウタンポポ○ サンゴジュ○ 他生物等 セグロアシナガバチ ミズミマイマイ	オニユリ○ ノカンゾウ○ ヤブカンゾウ○ イヌムギ ヨシ コマツヨイグサ ユウゲショウ○ ナガエツルノゲイトウ マルバハッカ○		他生物等 ハグロトンボ♂ シオカラトンボ ジャコウアゲハ♀ アゲハ キアゲハ モンシロチョウ ベニシジミ カタテハ ミシシippアカミガメ ×5		ガマ(繁茂) ヨシ(繁茂) アレチマツヨイグサ○ クズ(繁茂) カラスウリ ナガエツルノゲイトウ (繁茂) コヒルガオ○ ヘラオオハコ オオブタクサ(多)	ノアザミ○ ヒメジョオン 他生物等 オオカマキリ マルカメムシ ゴマダラカミキリ キタキチョウ ミシシippアカミガメ ×7	ガマ オギ ヨシ セイバンモロコシ○ コモマンネングサ○ ミソバ ナガエツルノゲイトウ (繁茂) オオブタクサ(河川内)	他生物等 アオドウガネ モンシロチョウ ミシシippアカミガメ ×5	オギ ススキ ヨシ アレチマツヨイグサ○ ナガエツルノゲイトウ トウネズミモチ○ ブタクサ 他生物等 アオスジアゲハ	ガマ オギ ヨシ マコモ アレチウリ○ ナガエツルノゲイトウ コセンダングサ 他生物等 カラスの巣	
2019. 9/11	オモダカ ハマスダ ヨシ ノドウ ヤブガラシ(この地点 で実をつけたものは初) アカツメクサ ナガエツルノゲイトウ (少) ホシアサガオ マメアサガオ	他生物等 アジアイトトンボ ウスバキトンボ クロアゲハ モンシロチョウ イチモンジセセリ 他生物等 セセシズメ幼虫 ヨツモンカメノコハムシ	クワイ ガマ ヨシ ヒレタゴボウ ワレモコウ ナガエツルノゲイトウ (少) マメアサガオ ノアザミ		他生物等 シオカラトンボ♀ ショウリョウバッタ♂ ウリハムシ ウラナミシジミ イチモンジセセリ 台風15号で土手の 桜が3本倒れた。		クワイ コガマ(中州) ススキ ヨシ(多) クズ ナガエツルノゲイトウ (多) コヒルガオ ヘラオオハコ	他生物等 ツチイナゴ エンマコオロギ アブラゼミ モンシロチョウ ムラサキシジミ モンクロシヤチホコ幼 虫(十モンクロシヤチ ホコ幼虫脱皮殻)	クワイ イモカタバミ○ ナガエツルノゲイトウ(多、中州にはびこる) ヘクソカズラ オオブタクサ	ナガエツルノゲイトウ(繁茂) ヘクソカズラ ブタクサ(多)		ガマ(中州) ヨシ(中州) マコモ(中州) クヌギ ナガエツルノゲイトウ(少) 他生物等 アブラゼミ カタテハ アカボシゴマダラ ミシシippアカミガメ×1	
2019. 10/9	オモダカ ヨシ(少) アキノエノコログサ ノドウ(実) ヒレタゴボウ×(群落、右 岸・中州) アレチウリ ナガエツルノゲイトウ (少)	マメアサガオ(多) ホシアサガオ(多) ヒロハホウキグサ ノドウ(実) 他生物等 セセシズメ幼虫 ヨツモンカメノコハムシ	ヒガンバナ○× カゼクサ ススキ ヨシ オウチチカタバミ○(多) ナガエツルノゲイトウ (右岸・左岸はびこる) ワレモコウ アレチハナガサ アザミsp.		イヌキクイモ○ 他生物等 ギンヤンマ アカアカナ ウスバキトンボ キタキチョウ モンシロチョウ ツマグロヒョウモン カタテハ ヒメアカカタテハ		コガマ(中州) カゼクサ ヨシ(中州) セイバンモロコシ ムラサキツメクサ ナガエツルノゲイトウ (右岸・左岸繁茂) ホシアサガオ(多数) ヨモギ セイタカアワダチソウ○	セイヨウタンポポ○ 他生物等 ギンヤンマ トノサマバタ アゲハチョウ モンシロチョウ ミシシippアカミガメ ×1	カゼクサ セイバンモロコシ クズ× ナガエツルノゲイトウ(右岸・左岸・中州に繁 茂) 他生物等 アカタテハ	カゼクサ ヨシ ベニカタバミ オウチチカタバミ ナガエツルノゲイトウ(右岸・左岸・ 多) ブタクサ(多)		ヨシ(右岸・左岸に繁茂、 川幅狭) マコモ(右岸・左岸に繁 茂、川幅狭) オウチチカタバミ ナガエツルノゲイトウ(右 岸・左岸、多)	
2019. 11/13	ムラサキツメクサ キンゴジカ アメリカアサガオ マメアサガオ ホシアサガオ ノアザミ		クワイ マコモ イヌタデ ナガエツルノゲイトウ (少、台風によるもの) コセンダングサ		タイアザミ ノハラアザミ 他生物等 モンシロチョウ		ヒメガマ マコモ イヌタデ ナガエツルノゲイトウ (少、台風によるもの) アキノノゲシ	他生物等 ハラビロカマキリ ウラギンシジミ	ムラサキカタバミ イヌタデ ナガエツルノゲイトウ (両岸を埋める) ヘクソカズラ コシロノセンダングサ タイアザミ	アキノノゲシ 他生物等 モンシロチョウ ベニシジミ ヤマトシジミ	クワイ ガマ カゼクサ ヨシ マコモ ムラサキカタバミ ナガエツルノゲイトウ(少)	メリケンカルカヤ オヒシバ ナガエツルノゲイトウ(多) コセンダングサ	
2019. 12/11	シンテッポウユリ× キンゴジカ○ ナガエツルノゲイトウ (少) オニノゲシ○× ヒロハホウキグサ	他生物等 ウラナミシジミ カルガモの死骸にカラ ス初確認	オヒシバ セイバンモロコシ カタバミ ギンギン ナガエツルノゲイトウ (少) セイヨウタンポポ		他生物等 ヤマトシジミ モグラ塚(各所)		ヒメガマ ヨシ(中州) ナガバギンギン ナガエツルノゲイトウ (少) コシロノセンダングサ アキノノゲシ オニノゲシ	他生物等 モンキチョウ モンシロチョウ ヤマトシジミ ウラナミシジミ ミシシippアカミガメ (大型)×10	オヒシバ ホソムギ ヨシ(多) ナガエツルノゲイトウ (少) ヒメジョオン	他生物等 ヤマトシジミ ヒメアカタテハ	ヨシ(多) ナガエツルノゲイトウ(多) オニタビラコ	ヒメガマ ススキ ヨシ マコモ ナガエツルノゲイトウ(多) コセンダングサ	
2020. 1/10	セイヨウタンポポ	他生物等 ミシシippアカミガメ× 1 モグラ塚	ヨシ ナガエツルノゲイトウ				コガマ ヨシ ギンギン ナガエツルノゲイトウ (少) ヘラオオハコ(ロゼット 状)	オニノゲシ ノゲシ セイヨウタンポポ 他生物等 ミシシippアカミガメ ×1	ヨシ ナガエツルノゲイトウ(少)	ヨシ ナガエツルノゲイトウ(少)		ヨシ マコモ ナガエツルノゲイトウ(少)	
2020. 2/12	イヌムギ スズメノカタビラ○ タネツケバナ○× オランダミナグサ○ コハコベ○×	シロザ イヌホオズキsp.○ ノボロギク○× ノゲシ○ オニタビラコ○	オギ ススキ ヨシ カラシナ○		アレチギンギン ナガバギンギン ギンギン セイヨウタンポポ○		コガマ オギ ススキ ヨシ	スイセン オギ ススキ ヨシ ウメ◎(紅、白花) ヤナギsp.(河川内)	オギ ススキ ヨシ ヤナギsp.(3本)(河川内) ナガエツルノゲイトウ(少)		オギ ススキ ヨシ マコモ ヤナギsp.(3本)(河川内) カラシナ○(繁茂) ナガエツルノゲイトウ(少)		

表 5 各調査区間の河川環境状況

：未調査

	No.1大曲橋→西久保橋	No.2西久保橋→萩園橋	No.3萩園橋→浜園橋	No.4浜園橋→新鶴嶺橋	No.5新鶴嶺橋→中原橋	No.6中原橋→下町屋橋
	河川や周囲の環境	河川や周囲の環境	河川や周囲の環境	河川や周囲の環境	河川や周囲の環境	河川や周囲の環境
2019. 1/11	水量 減少 浚渫工事中 土手両側草刈り	水量 減少 浚渫工事了 土手両側草刈り	水量 減少 浚渫工事了 両側ヨシ多い	水量 普通 オオバンとバンが魚を取りあう姿を確認 両側ヨシ多い 中州あり	水量 普通 右側ヨシ、左側草刈り 中州あり	水量 多 右岸、左岸ヨシ
2019. 2/13	水量 多 浚渫工事了 中州無く川幅広い 土手草刈り済	水量 少 浚渫工事中 中州なし 土手草刈り済	水量 普通 中州あり 土手植物あり	水量 普通 中州あり 土手草刈	水量 普通 川幅少 土手植物あり	水量 少 川幅大 中州あり 土手植物あり
2019. 3/13	水量多 中州なし 土手両側草刈り ナガエツルノゲイトウなし	川底浚渫工事 川幅大 中州なし 土手両岸植物あり	水量 多 川幅小 中州あり 土手植物あり	水量 多 川幅小 中州あり 土手草刈り ナガエツルノゲイトウ(枯)	水量 多 川幅小 中州あり 土手植物あり	水量 多 川幅大 中州あり 土手植物あり
2019. 4/24	水量 多 川幅大(浚渫工事済) 中州なし 土手両側植物あり	水量 多 川幅大(土手工事中) 中州なし 土手右岸草刈り、左岸植物あり	水量 少 川幅小 中州なし 土手両側植物あり	水量 少 川幅小 中州あり 土手なし両側植物あり	水量 少 川幅小 中州あり 土手なし両側植物あり	水量 多 川幅小 中州あり 土手なし両側植物あり
2019. 5/8	水量 多 川幅大 中州なし 土手右岸草刈り、左岸植物あり	水量 多 川幅大 中州なし 工事了 土手右岸草刈り、左岸植物あり	水量 中 川幅小 中州あり 土手コンクリート 両側植物あり	水量 少 川幅小 中州あり 土手コンクリート 両側植物あり	川幅小 中州あり 土手コンクリート 両側植物あり	
2019. 6/12	水量 多 川幅大 中州なし 土手両岸植物多し 稲作	水量 多 川幅大 中州なし 土手両岸植物多し 稲作	水量 中 川幅狭い 中州あり 土手両側植物多し	水量 中 川幅狭い 中州あり 土手コンクリート 土手両側植物多し	水量 中 川幅狭い 中州あり 土手両側植物多し	
2019. 7/10	水量 多(左岸用水開放) 川底浚渫工事済 中州なし 流れ早い 土手両岸植物密集	水量 多 中州なし 土手両岸植物密集	水量 多 中州なし 土手両岸植物密集 河川内にガマ	水量 多 川幅狭い 土手両側植物	水量 多 川幅狭い 中州あり 土手両側植物	水量 多 川幅狭い 中州なし 土手両側植物多い
2019. 9/11	水量 多(左岸用水より) 中州なし 稲実る 水田ふえた 土手両岸植物多い	水量 多 中州なし 流れゆるやか 稲たわわに実る 土手両岸植物多い	水量 多 中州あり 土手両岸植物多い	水量 多 中州あり 土手両岸植物多い	水量 多 中州あり 土手両岸植物多い、繁茂	水量 多 中州あり 土手両岸植物多い、繁茂
2019. 10/9	水量 少(稲作終、左岸用水からの入水なし) 中州あり 水流 小 川幅広い 土手両岸植物多い	水量 少 中州少ない 水流 小 川幅広い 土手両岸草刈り	水量 少 中州少ない 水流 小 川幅狭くヨシ、ブタクサ、アレチウリが繁茂、流れ悪い	水量 少 中州少ない 水流 小 川幅狭くヨシ多い	水量 少 中州大きい 水流 小 川幅狭くヨシ多い	水量 少 中州大きい 水流 小 川幅狭くヨシ、マコモ繁茂
2019. 11/13	水量 少 中州あり 流れなし 川幅広い 土手両岸草刈り	水量 少 中州なし 流れなし 川幅広い 土手両岸草刈り	水量 少 中州あり 水流小 川幅狭い 土手両岸草刈り	水量 少 中州なし 水流小 川幅狭く草木茂る	水量 少 中州あり 水流小 川幅広い 土手両岸草刈り	水量 少 中州あり 水流小 川幅狭く、草木茂る
2019. 12/11	水量 少 中州あり(少) 水流なし 川幅広い 土手両岸草刈り	水量 少 中州なし 水流なし 川幅広い 土手両岸草刈り	水量 少 中州あり 水流あり 川幅狭い 土手片岸草刈り、片側植物あり	水量 少 中州あり 水流なし 川幅狭い 両岸植物繁茂	水量 少 中州あり 水流なし 川幅狭い 両岸植物繁茂	水量 少 中州あり 水流なし 川幅狭い 両岸植物繁茂
2020. 1/10	水量 少 中州なし 水流 小 川幅広い 土手両岸草刈り 土砂浚渫工事中、土砂むき出し ナガエツルノゲイトウなし(工事で切り取られている)	水量 少 中州なし 水流 小 川幅広い 土手両岸草刈り 両岸植物なし(川岸に多少ヨシあり) ナガエツルノゲイトウあり(葉は枯れてはいない様子。水鳥が摂食)	水量 中 中州あり 水流 小 両岸植物あり(ヨシ、コガマ)	水量 少 中州あり(砂地) 水流 小 両岸植物あり(ヨシ等繁茂)	水量 少 中州あり 水流 小 両岸植物あり(ヨシ等繁茂)	水量 少 中州あり(少々) 水流 小 両岸植物あり(ヨシ等繁茂)、マコモ群生
2020. 2/12	水量 多 中州なし 水流あり 川幅広い 土手両岸草刈り ナガエツルノゲイトウなし	水量 少 中州なし 水流なし 川幅広い 土手両岸草刈り ナガエツルノゲイトウなし 河川内にヨシ、オギ、ススキ繁茂	水量 少 中州あり 水流あり 川幅狭い 土手両岸草刈り ナガエツルノゲイトウなし 河川内にヨシ、オギ、ススキ、コガマ繁茂	水量 少 中州あり 水流あり 川幅狭い ナガエツルノゲイトウなし 河川内にヨシ、オギ、ススキ繁茂	水量 少 中州あり 水流なし 川幅狭い ナガエツルノゲイトウあり(少) 河川内中部、両岸にヨシ、オギ、ススキ繁茂	水量 多 中州なし 水流あり 川幅狭い ナガエツルノゲイトウあり(少) 河川内中部、両岸にヨシ、オギ、ススキ、マコモ

表 6 確認された動物種(簡易調査)

目名	科名	種名	学名
トンボ目	カワトンボ科	ハグロトンボ	<i>Calopteryx atrata</i>
	イトトンボ科	アジアイトトンボ	<i>Ischnura asiatica</i>
	ヤンマ科	ギンヤンマ	<i>Anax parthenope</i>
	トンボ科	シオカラトンボ	<i>Orthetrum albigyllum speciosum</i>
		アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>
カマキリ目	カマキリ科	オオカマキリ	<i>Tenodera aridifolia</i>
		ハラビロカマキリ	<i>Hierodula patellifera</i>
バッタ目	キリギリス科	ヤブキリ	<i>Tettigonia orientalis</i>
	コオロギ科	エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>
	バッタ科	ツチイナゴ	<i>Patanga japonica</i>
		ショウリョウバッタ	<i>Acrida cinerea</i>
		トノサマバッタ	<i>Locusta migratoria</i>
カメムシ目	セミ科	アブラゼミ	<i>Graptopsaltria nigrofuscata</i>
	マルカメムシ科	マルカメムシ	<i>Megacopta punctatissima</i>
アミメカゲロウ目	クサカゲロウ科	クサカゲロウsp.	<i>Chrysoperla sp.</i>
コウチュウ目	コガネムシ科	アオドウガネ	<i>Anomala albopilosa</i>
	テントウムシ科	ナナホシテントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>
		ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>
	カミキリムシ科	ゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora malasiaca</i>
	ハムシ科	ホソクビナガハムシ	<i>Lilioceris parvicollis</i>
		ハッカハムシ	<i>Chrysolina exanthematica exanthematica</i>
		ウリハムシ	<i>Aulacophora indica</i>
		ヨツモンカメノコハムシ	<i>Lacoptera nepalensis</i>
チョウ目	アゲハチョウ科	クロアゲハ	<i>Papilio protenor</i>
		ジャコウアゲハ	<i>Atrophaneura alcinous</i>
		アゲハ	<i>Papilio xuthus</i>
		キアゲハ	<i>Papilio machaon</i>
		アオスジアゲハ	<i>Graphium sarpedon</i>
	シロチョウ科	キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>
		モンキチョウ	<i>Colias erate</i>
		モンシロチョウ	<i>Pieris rapae</i>
	シジミチョウ科	ウラギンシジミ	<i>Curetis acuta</i>
		ムラサキシジミ	<i>Arhopala japonica</i>
		ベニシジミ	<i>Lycaena phlaeas</i>
		ウラナミシジミ	<i>Lampides boeticus</i>
		ヤマトシジミ	<i>Pseudozizeeria maha</i>
	タテハチョウ科	ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius</i>
		キタテハ	<i>Polygonia c-aureum</i>
		アカタテハ	<i>Vanessa indica</i>
		ヒメアカタテハ	<i>Vanessa cardui</i>
		アカボシゴマダラ	<i>Hestina assimilis assimilis</i>
	セセリチョウ科	イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata</i>
	スズメガ科	セスジスズメ幼虫	<i>Theretra oldenlandiae oldenlandiae</i>
	シャクガ科	ウメエダシャク	<i>Cystidia couaggaria couaggaria</i>
	シャチホコガ科	モンクロシャチホコ幼虫(十モンクロシャチホコ幼虫脱皮殻)	<i>Phalera flavescens</i>
ハチ目	スズメバチ科	セグロアシナガバチ	<i>Polistes jokahamae</i>
目名	科名	種名	学名
有肺目	ナンバンマイマイ科	ミスジマイマイ	<i>Euhadra peliomphala peliomphala</i>
目名	科名	種名	学名
クモ目	ハエトリグモ科	カラスハエトリ	<i>Rhene atrata</i>
目名	科名	種名	学名
十脚目	ベンケイガニ科	カクベンケイガニ	<i>Parasarma pictum</i>
目名	科名	種名	学名
無尾目	アマガエル科	ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>
目名	科名	種名	学名
カメ目	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>
目名	科名	確認状況	
トガリネズミ形目	モグラ科	モグラ穴塚	Molehills

表 7 確認された植物目録

科名 種名	学名
Equisetaceae トクサ科	
スギナ	<i>Equisetum arvense</i> L.
Schisandraceae マツブサ科	
シキミ	<i>Illicium anisatum</i> L.
Saururaceae ドクダミ科	
ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i> Thunb.
Alismataceae オモダカ科	
オモダカ	<i>Sagittaria trifolia</i> L.
クワイ	<i>Sagittaria trifolia</i> L. 'Caerulea'
Liliaceae ユリ科	
オニユリ	<i>Lilium lancifolium</i> Thunb.
シンテツポウユリ	<i>Lilium x formolongo</i> Hort.
Iridaceae アヤメ科	
キシヨウブ	<i>Iris pseudacorus</i> L.
Asphodelaceae ワスレグサ科	
ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>disticha</i> (Donn ex Ker Gawl.) M.Hotta
ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>kwanso</i> Regel
Amaryllidaceae ヒガンバナ科	
ノビル	<i>Allium macrostemon</i> Bunge
ヒガンバナ	<i>Lycoris radiata</i> (L'Hér.) Herb.
スイセン	<i>Narcissus tazetta</i> L.
Commelinaceae ツククサ科	
ツククサ	<i>Commelina communis</i> L.
Typhaceae ガマ科	
ヒメガマ	<i>Typha domingensis</i> Pers.
ガマ	<i>Typha latifolia</i> L.
コガマ	<i>Typha orientalis</i> C.Presl
Cyperaceae カヤツリグサ科	
ハマスゲ	<i>Cyperus rotundus</i> L.
Poaceae イネ科	
メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i> L.
コバンソウ	<i>Briza maxima</i> L.
イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i> Vahl
ヒゲナガスズメノチャヒキ	<i>Bromus diandrus</i> Roth
オヒシバ	<i>Eleusine indica</i> (L.) Gaertn.
カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i> (Thunb.) P.Beauv.
チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> (L.) Raeusch. var. <i>koenigii</i> (Retz.) Pilg.
ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i> Lam.
ホソムギ	<i>Lolium perenne</i> L.
オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i> (Maxim.) Benth.
ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i> Andersson
ヨシ	<i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin. ex Steud.
スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> L.
オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i> L.
アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i> R.A.W.Herrm.
セイバンモロコシ	<i>Sorghum propinquum</i> (Kunth) Hitchc.
マコモ	<i>Zizania latifolia</i> (Griseb.) Turez. ex Stapf
Ranunculaceae キンボウグサ科	
センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i> DC.
Crassulaceae ベンケイソウ科	
コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i> Makino
オノマンネングサ	<i>Sedum lineare</i> Thunb.
Vitaceae ブドウ科	
ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> (Wall.) Momiy. var. <i>heterophylla</i> (Thunb.) Momiy.
ヤブカラシ	<i>Causonis japonica</i> (Thunb.) Raf.
エビヅル	<i>Vitis ficifolia</i> Bunge
Geraniaceae フウロソウ科	
アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i> L.
Onagraceae アカバナ科	
ヒレタゴボウ	<i>Ludwigia decurrens</i> Walter
コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i> Hill
アレチマツヨイグサ	<i>Oenothera parviflora</i> L.
ユウゲシヨウ	<i>Oenothera rosea</i> L'Hér. ex Aiton
Fabaceae マメ科	
ゲンゲ	<i>Astragalus sinicus</i> L.
クズ	<i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi
ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i> L.
ヤハズエンドウ	<i>Vicia sativa</i> L. subsp. <i>nigra</i> (L.) Ehrh.
カスマグサ	<i>Vicia tetrasperma</i> (L.) Schreb.
Rosaceae バラ科	
オヘビイチゴ	<i>Potentilla anemonifolia</i> Lehm.
ウメ	<i>Armeniaca mume</i> (Siebold et Zucc.) de Vriese
クサイチゴ	<i>Rubus hirsutus</i> Thunb.
ワレモコウ	<i>Sanguisorba officinalis</i> L.
シモツケ	<i>Spirea japonica</i> L.f.
Elaeagnaceae グミ科	
ナワシログミ	<i>Elaeagnus pungens</i> Thunb.
Cucurbitaceae ウリ科	
アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i> L.
カラスウリ	<i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim. ex Franch. et Sav.
Fagaceae ブナ科	
マテバシイ	<i>Lithocarpus edulis</i> (Makino) Nakai
クヌギ	<i>Quercus acutissima</i> Carruth.
ウバメガシ	<i>Quercus phillyreoides</i> A.Gray
Juglandaceae クルミ科	
オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> Maxim. var. <i>sachalinensis</i> (Komatsu) Kitam.
Oxalidaceae カタバミ科	
イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i> Savigny
ペニカタバミ	<i>Oxalis braziliensis</i> Lodd. ex Knowles et Westcott
カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L.
ムラサキカタバミ	<i>Oxalis debilis</i> Kunth subsp. <i>corymbosa</i> (DC.) Lourteig
オッタチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i> Jacq.

科名 種名	学名
Euphorbiaceae トウダイグサ科	
トウダイグサ	<i>Euphorbia helioscopia</i> L.
Brassicaceae アブラナ科	
カラシナ	<i>Brassica juncea</i> (L.) Czern.
セイヨウアブラナ	<i>Brassica napus</i> L.
タネツケバナ	<i>Cardamine occulta</i> Hornem.
マメグンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i> L.
Malvaceae アオイ科	
タチアオイ	<i>Alcea rosea</i> L.
ウサギアオイ	<i>Malva parviflora</i> L.
キンゴジカ	<i>Sida rhombifolia</i> L. subsp. <i>Rhombifolia</i>
Polygonaceae タデ科	
シャクチリソバ	<i>Fagopyrum dibotrys</i> (D.Don) H.Hara
イタドリ	<i>Fallopia japonica</i> (Houtt.) Ronse Decr. var. <i>japonica</i>
イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i> (Bruijn) Kitag.
ミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) H.Gross
アレチギシギシ	<i>Rumex conglomeratus</i> Murray
ナガバギシギシ	<i>Rumex crispus</i> L.
ギシギシ	<i>Rumex japonicus</i> Houtt.
Caryophyllaceae ナデシコ科	
オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.
ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i> (L.) Scop.
コハコベ	<i>Stellaria media</i> (L.) Vill.
Amaranthaceae ヒユ科	
ナガエツルノゲイトウ	<i>Alternanthera philoxeroides</i> (Mart.) Griseb.
シロザ	<i>Chenopodium album</i> L.
Rubiaceae アカネ科	
ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i> L.
Boraginaceae ムラサキ科	
キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i> (Trevir.) F.B.Forbes et Hemsl.
Convolvulaceae ヒルガオ科	
コヒルガオ	<i>Calystegia hederacea</i> Wall.
アメリカアサガオ	<i>Ipomoea hederacea</i> Jacq.
マメアサガオ	<i>Ipomoea lacunosa</i> L.
ホシアサガオ	<i>Ipomoea triloba</i> L.
Solanaceae ナス科	
クコ	<i>Lycium chinense</i> Mill.
ワルナスビ	<i>Solanum carolinense</i> L.
テリミノイヌホオズキ	<i>Solanum americanum</i> Mill.
アメリカイヌホオズキ	<i>Solanum ptychanthum</i> Dunal
イヌホオズキsp.	<i>Solanum</i> sp.
Oleaceae モクセイ科	
トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i> Aiton
Plantaginaceae オオバコ科	
ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i> L.
Lamiaceae シソ科	
クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunb.
マルバハッカ	<i>Mentha suaveolens</i> Ehrh.
Verbenaceae クマツヅラ科	
アレチハナガサ	<i>Verbena brasiliensis</i> Vell.
Campanulaceae キキョウ科	
ホタルブクロ	<i>Campanula punctata</i> Lam. var. <i>punctata</i>
Asteraceae キク科	
ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i> L.
オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i> L.
ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> Willd. var. <i>maximowiczii</i> (Nakai) H.Hara
コシロノセダングサ	<i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>minor</i> (Blume) Sherff
コセダングサ	<i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i>
タイアザミ	<i>Cirsium nipponicum</i> (Maxim.) Makino var. <i>incomptum</i> (Maxim.) Kitam.
オニアザミ	<i>Cirsium nipponense</i> (Nakai) Koidz.
ノハラアザミ	<i>Cirsium oligophyllum</i> (Franch. et Sav.) Matsum.
アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare</i> (Savi) Ten.
アザミsp.	<i>Cirsium</i> sp.
ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i> (L.) Pers.
オオアレチノギク	<i>Erigeron sumatrensis</i> Retz.
ウラジロチチコグサ	<i>Gamochoaeta coarctata</i> (Willd.) Kerguelen
イヌクワイモ	<i>Helianthus strumosus</i> L.
キツネアザミ	<i>Hemisteptia lyrata</i> (Bunge) Fisch. et C.A.Mey.
ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i> L.
オオジシバリ	<i>Ixeris japonica</i> (Burm.f.) Nakai
アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> L.
ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i> L.
セイタカアワダテソウ	<i>Solidago altissima</i> L.
オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i> (L.) Hill
ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i> L.
ヒロハホウキギク	<i>Symphyotrichum subulatum</i> (Michx.) G.L.Nesom var. <i>squamatum</i> (Spreng.) S.D.Sundberg
アカミタンポポ	<i>Taraxacum laevigatum</i> (Willd.) DC.
セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i> Weber ex F.H.Wigg.
カントウタンポポ	<i>Taraxacum platycarpum</i> Dahlst.
オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> (L.) DC.
Adoxaceae レンブクソウ科	
サンゴジュ	<i>Viburnum odoratissimum</i> Ker Gawl. var. <i>awabuki</i> (K.Koch) Zabel
Caprifoliaceae スイカズラ科	
スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i> Thunb.
ノヂシャ	<i>Valerianella locusta</i> (L.) Laterr.
Araliaceae ウコギ科	
キツタ	<i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean
Apiaceae セリ科	
オヤブジラミ	<i>Torilis scabra</i> (Thunb.) DC.

植物分類はAPGⅢ体系による



図 3 西久保橋上流側 (No. 1)
(2020. 1/10)



図 4 西久保橋-萩園橋間 (No. 2)
(2019. 2/13, 浚渫工事中)



図 5 西久保橋-萩園橋間 (No. 2)
(2019. 2/13, 浚渫工事中)



図 6 萩園橋-浜園橋間 (No. 3)
(2019. 5/8)



図 7 浜園橋-新鶴嶺橋 (No. 4)
(2019. 7/10)



図 8 中原橋-下町屋橋間 (No. 6)
(2020. 1/10)

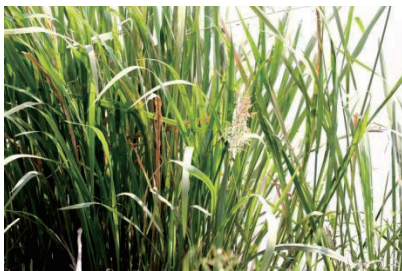


図 9 マコモ (2019. 9/13)



図 10 ヒメガマ (2019. 7/22)

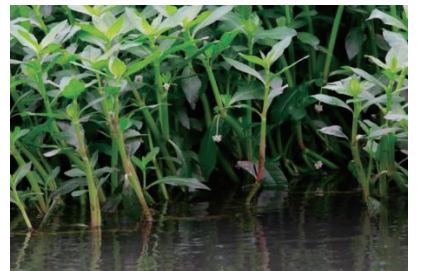


図 11 ナガエツルノゲイトウ
(開花) (2019. 7/22)



図 12 クイナ (2019. 5/8)



図 13 オオバンの群れ (2020. 1/20)



図 14 タシギ (2019. 3/13)



図 15 チョウゲンボウ (2019. 12/18)



図 16 ツバメ幼鳥 3 個体
(2019. 6/12)



図 17 ハグロトンボ (2019. 7/10)